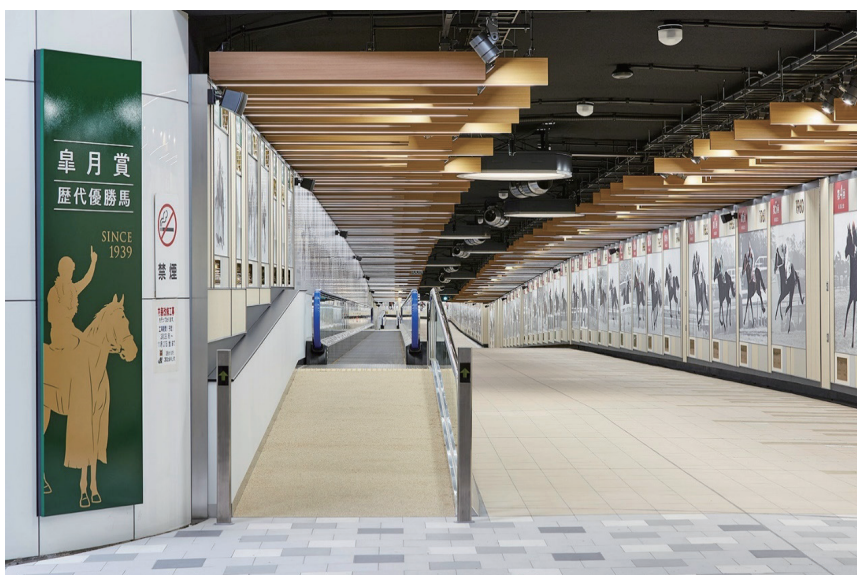


クローズアップ



専用地下道風景

中山競馬場

大橋正文

(Masafumi Ohashi)

東芝エレベーター株式会社

東関東支社 リニューアル営業部

1. はじめに

中山競馬場は日本中央競馬会の10か所の競馬場で初めてファミリー、女性ファン層も楽しめるスタンドを目指して建設されました。

全面空調の屋内化をはじめ、メディアホールやフードコート等の確保等は、その後のJRAスタンドの標準となっています。パドックを取り囲む多層化した下見所や6層吹抜けのアトリウム「ベンジャミンプラザ」など10万㎡を超えるビッグスタンドとして全国公営競技場のフラッグシップ的な役割を果たしています。

2014年からは施設、設備のリフレッシュ工事を実施しており、時代に適合した快適な環境、また機能的で利便性の高い空間を提供するとともに一層社会環境や自然環境に配慮したスタンドを目指しています。

2. 建物概要

- 所在地：千葉県船橋市古作一丁目1番1号
- 建築主：日本中央競馬会 中山競馬場
- 設計監理：株式会社 松田平田設計
- 施工：株式会社 安藤・間
- 建築用途：歩道橋、地下道（動く歩道設置通路）
- 延床面積：124,640㎡
- 構造：RC造（一部、S造、SRC造）
- 竣工：1990年（動く歩道設置通路）、
2014年からリフレッシュ工事を実施中



中山競馬場アクセス図（出典：中山競馬場 HP より）

3. 昇降機設備

昇降機設備は、中山競馬場と最寄りのJR武蔵野線船橋法典駅の専用改札とを結ぶ専用地下道内に、動く歩道が4台設置されており、施設のリフレッシュ工事に伴い、動く歩道の更新を2016年から実施しています。

時間帯毎に運転方向を切り替えるオペレーションのため、動く歩道に繋がるスロープの入口に運転方向表示灯を設置、動く歩道自体にも階段15段毎に3段分、色の異なる階段を配置して、お客様が運転方向を視認しやすい仕様としています。

また、専用地下道自体が一定の傾斜では無いため、動く歩道自体をほとんど水平にしか設置できず、地下道自体の傾斜と機器の傾斜に大きな差が生じています。その結果、場所によっては床から1500mm程度の高さに手摺がある箇所もあるため、通路側のみスモークタイプの飛散防止フィルムを貼り、下から覗き込まれることを防止した意匠にしています。

その他、地下道内は散水車で清掃する環境であることから、制御機器をアクリルケースに密閉した屋外型仕様として、地下道内の清掃のしやすさも考慮しています。

クローズアップ



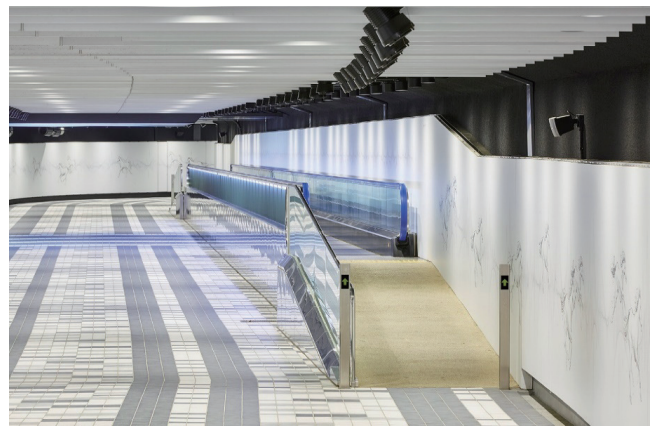
C号機 全景



C号機 正面



C号機 踏段



A号機 全景



B号機 正面

動く歩道仕様 (計4台)

号機	形式	欄干意匠	速度 (m/min)	有効長 (m)	勾配 (度)	階高 (mm)	台数 (台)	メーカー	備考
A号機	S1000	透明ガラス	40	60	0	0	1	東芝	屋外仕様、運転表示ボール付
B号機	"	"	40	55	1	1000	1		"
C号機	"	"	40	50	0	0	1		"
D号機	"	"	40	50	0	0	1		"